



2013年3月期

通期 決算説明会

SMK株式会社

2013年4月30日



FY2012 通期決算の概況

常務執行役員

大垣 幸平

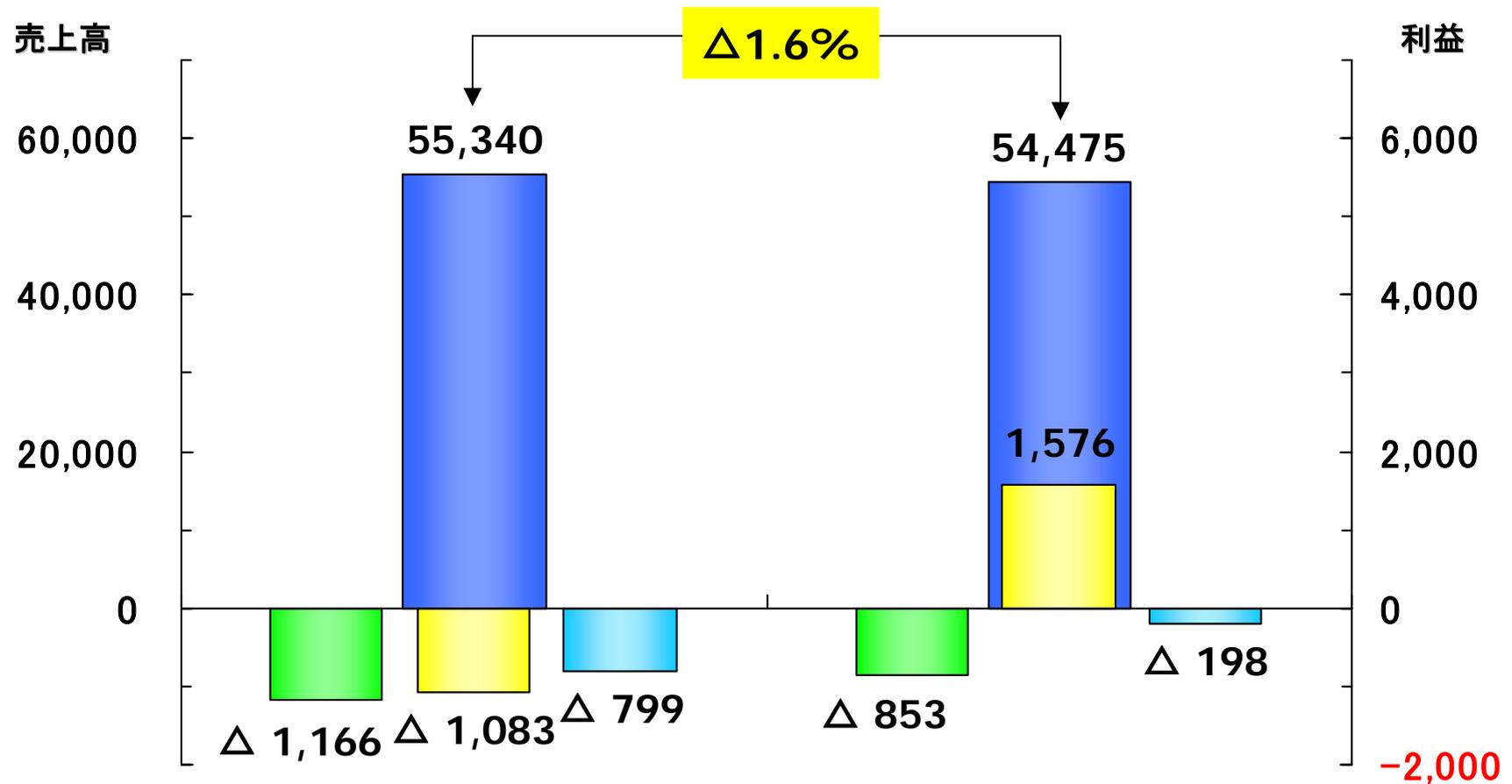


<連結>通期業績

FY2011

FY2012

(単位:百万円)



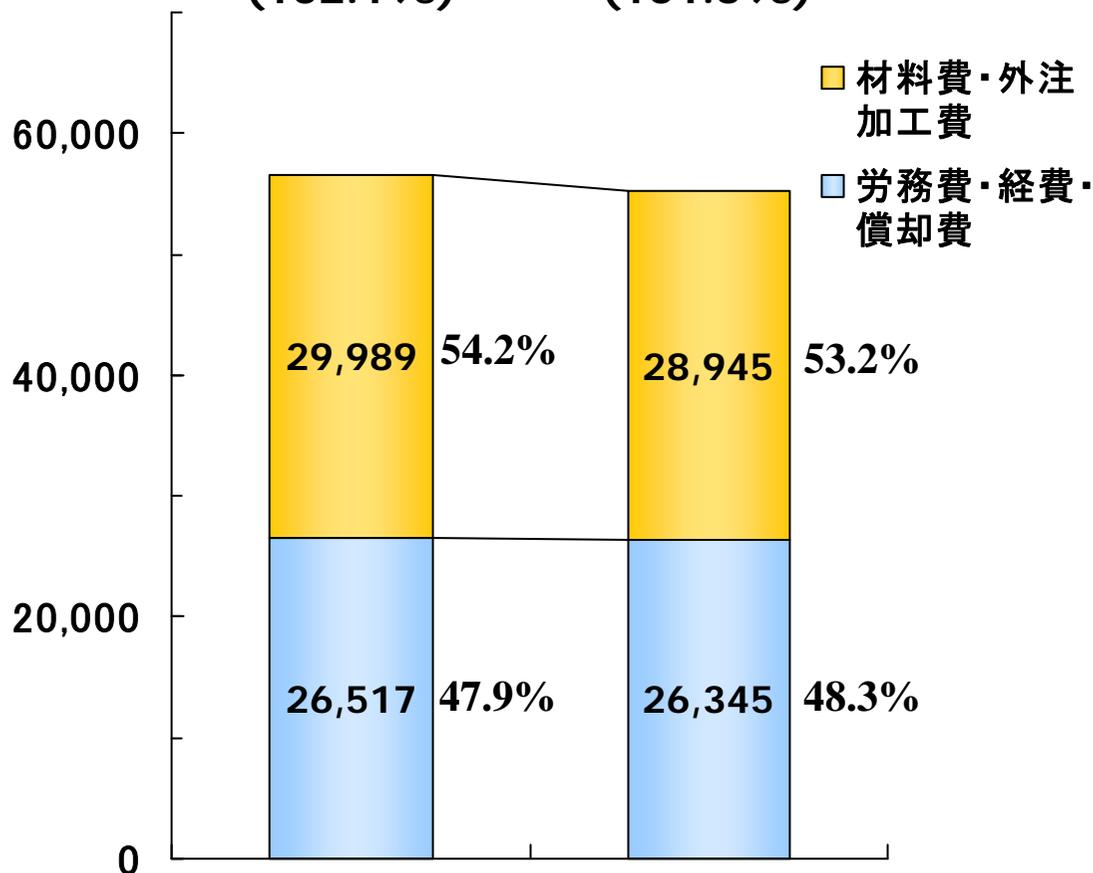
■ 売上高 ■ 営業利益 ■ 経常利益 ■ 当期純利益



<連結>営業費用

(単位:百万円)

FY2011	FY2012	
56,506	55,328	():売上比
(102.1%)	(101.5%)	



- 材料費・外注加工費 1.0%改善
54.2%→53.2% △545百万円
 - 労務費・経費・償却費 △172百万円
- プラス要因:
- ・労務費削減
 - ・緊急施策
- マイナス要因:
- ・為替影響
 - ・中国子会社関連費用
 - ・技術展(TEXPO2012)

営業利益	△1,166	△853
	(△2.1%)	(△1.5%)

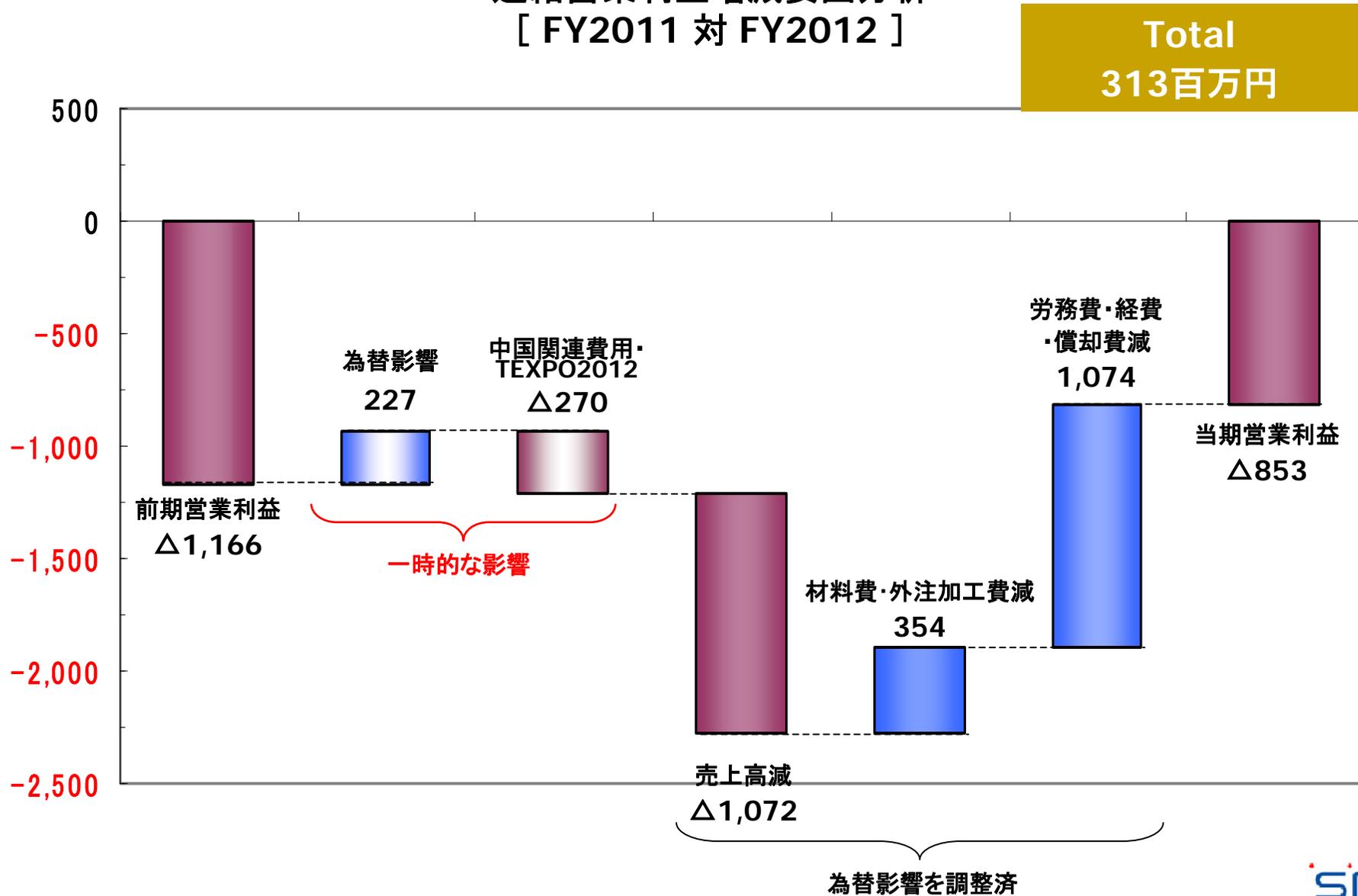
※FY2011で中国工場独資化の影響を調整済
(外注加工費⇔労務費・経費)



<連結> 營業費用分析

連結營業利益增減要因分析 [FY2011 対 FY2012]

(單位: 百万円)





<連結> 営業外損益

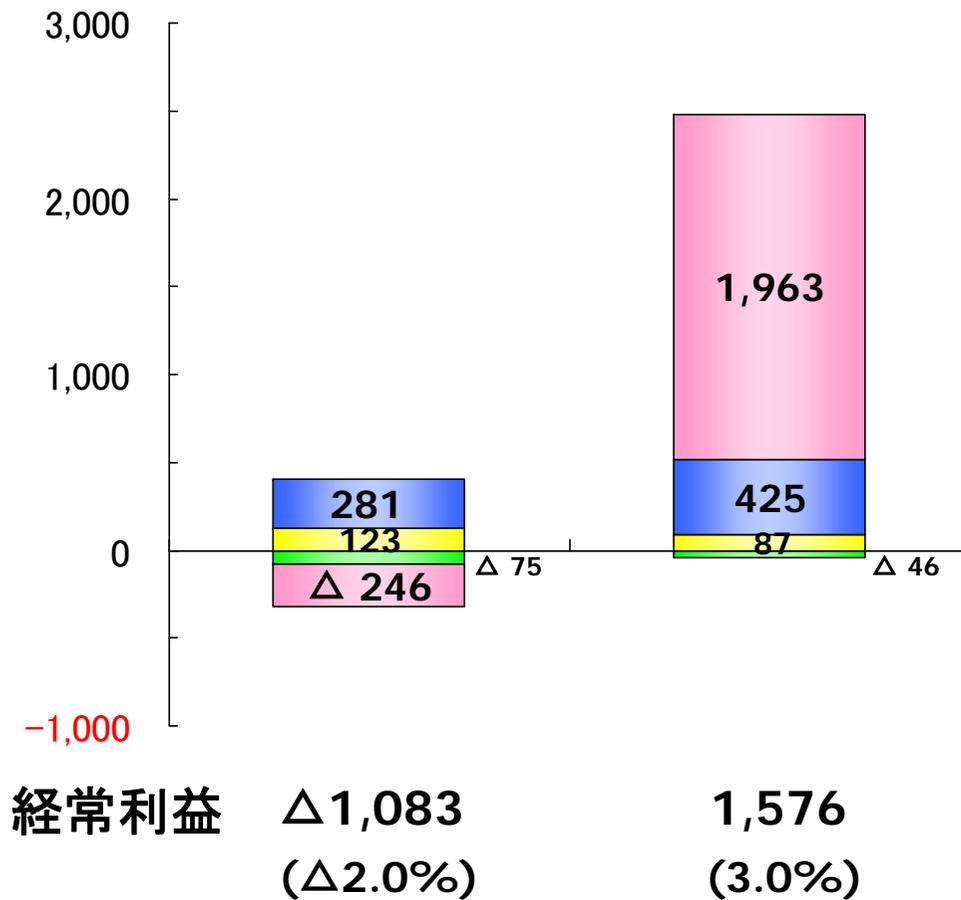
6/30

FY2011
83
(0.1%)

FY2012
2,429
(4.5%)

(単位:百万円)

():売上比



- 為替差損益
- 不動産収支
- 金融収支
- その他

為替差損⇒為替差益 2,209百万円

1. FY2011

2011/3 ¥ 83.15/\$

2012/3 ¥ 82.19/\$ 0.96の円高

2. FY2012

2012/3 ¥ 82.19/\$

2013/3 ¥ 94.05/\$ 11.86の円安



<連結>特別損益

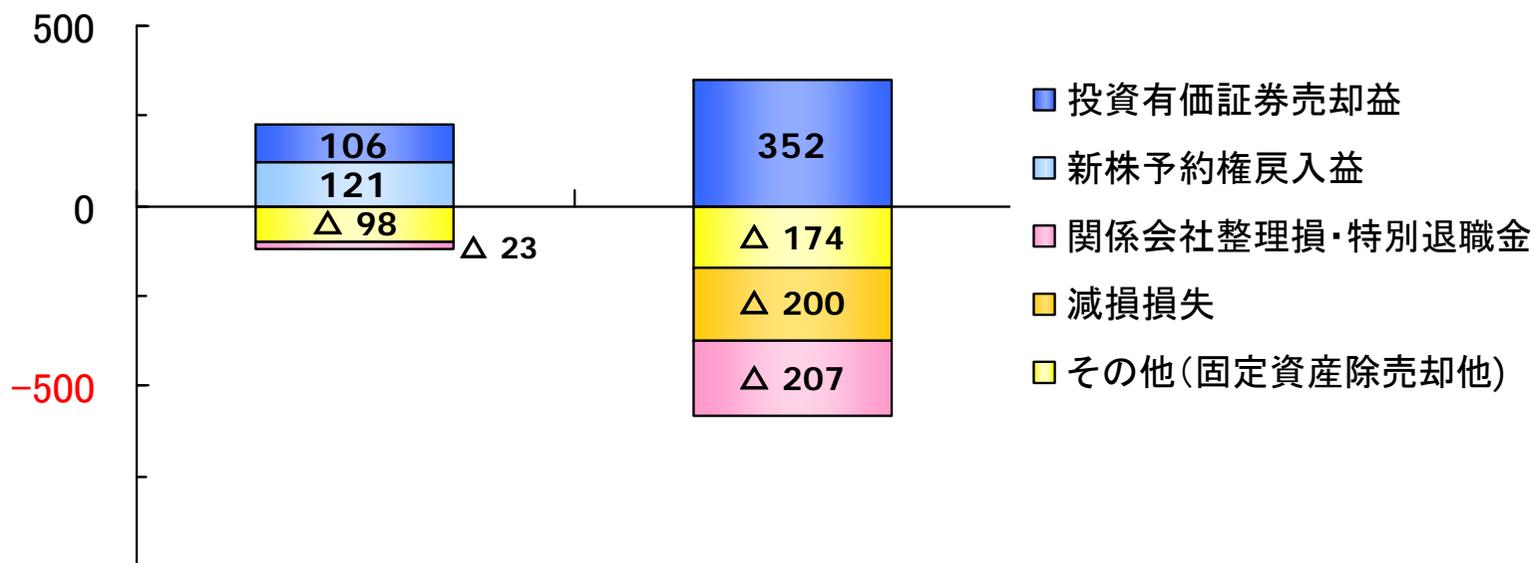
7/30

FY2011
106

FY2012
△229

(単位:百万円)

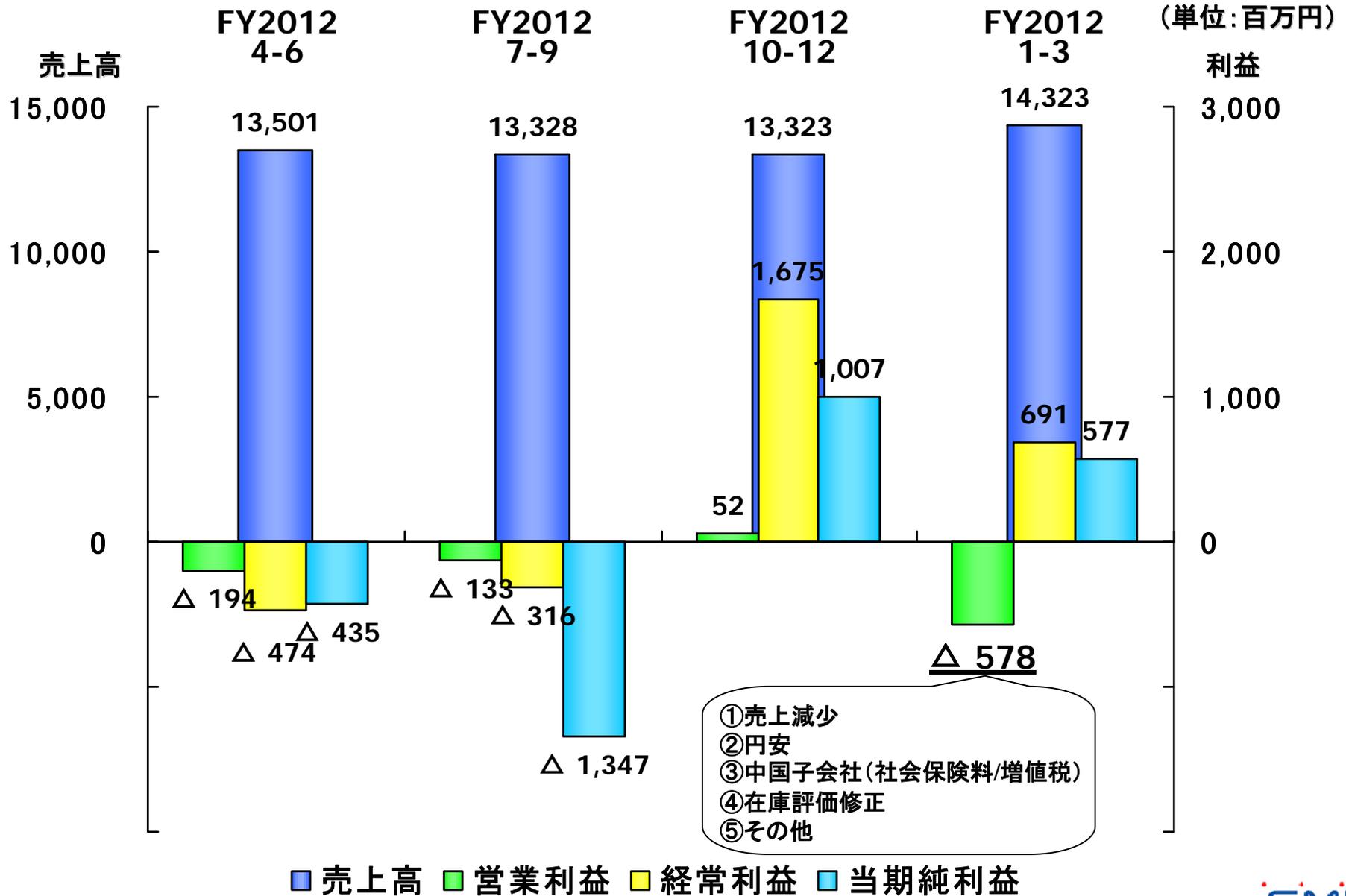
():売上比



税引前利益	△977	1,347
税金等(含税効果処理)	178	△1,545
当期純利益	△799	△198
	(△1.4%)	(△0.4%)



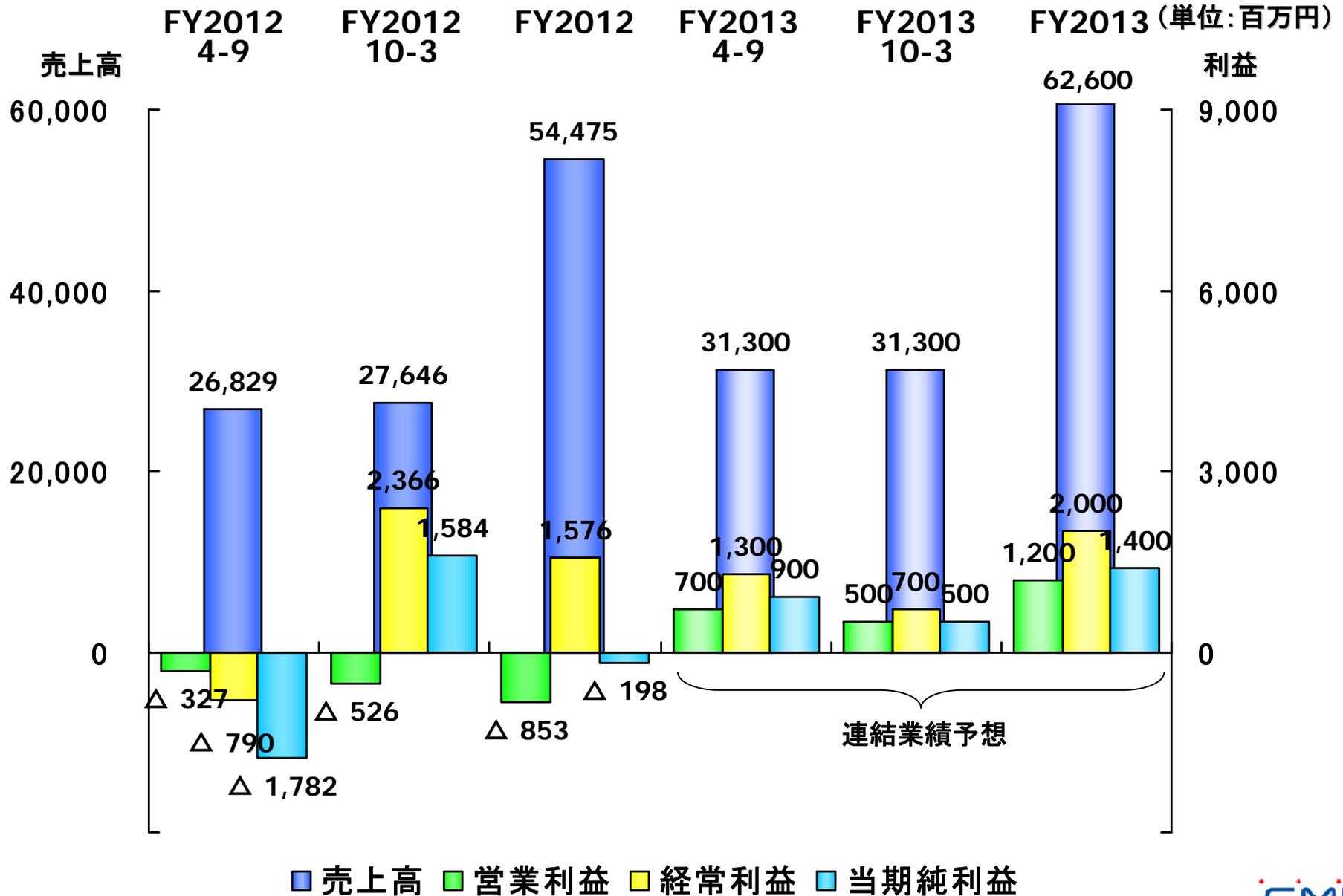
<連結>業績推移(四半期)





<連結>業績推移(半期) 対予想比

9/30





<連結>財政状態

10/30

(単位:百万円)

	2012/3 (A)	2013/3 (B)	増減 (B-A)
資産	53,883	52,498	△1,385
現預金	8,472	8,713	241
受取手形及び売掛金	15,223	14,551	△672
棚卸資産	5,472	5,466	△6
固定資産	20,397	19,864	△533
負債	25,626	24,293	△1,333
買掛金及び未払金	10,800	9,851	△949
有利子負債	12,157	11,488	△669
純資産	28,257	28,204	△53
資本金	7,996	7,996	—
自己資本比率	52.4%	53.6%	1.2%



<連結>キャッシュ・フローの状況

11/30

(単位:百万円)

	FY2011	FY2012
営業キャッシュフロー	2,001	4,855
運転資金	△430	△99
税引前利益	△977	1,347
減価償却費	3,664	3,438
その他	△256	169
投資キャッシュフロー	△3,764	△2,946
フリーキャッシュフロー	△1,763	1,909
財務キャッシュフロー	2,686	△1,360
有利子負債の増減額	3,236	△788
自己株式の増減額	△259	△142
配当金の支払金額	△291	△430
現金等期首残高	7,382	8,389
現金等期末残高	8,389	8,630



<連結>セグメント情報

12/30

FY2012

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	25,498	18,803	9,923	54,224	251	54,475
セグメント利益 又は損失(△) (営業損失)	521	△1,430	12	△897	44	△853

FY2011

	報告セグメント				その他(注)	合計
	CS事業部	FC事業部	TP事業部	計		
売上高	22,639	22,049	10,418	55,106	234	55,340
セグメント利益 又は損失(△) (営業損失)	△312	△717	△154	△1,183	17	△1,166

(注) その他部品、リース、不動産賃貸、ファクタリング事業





年間配当金

	第2四半期末	期 末	年 間
FY2013(予想)	未定		
FY2012	0円00銭	5円00銭	5円00銭



FY2012通期実績とFY2013見通し

代表取締役社長

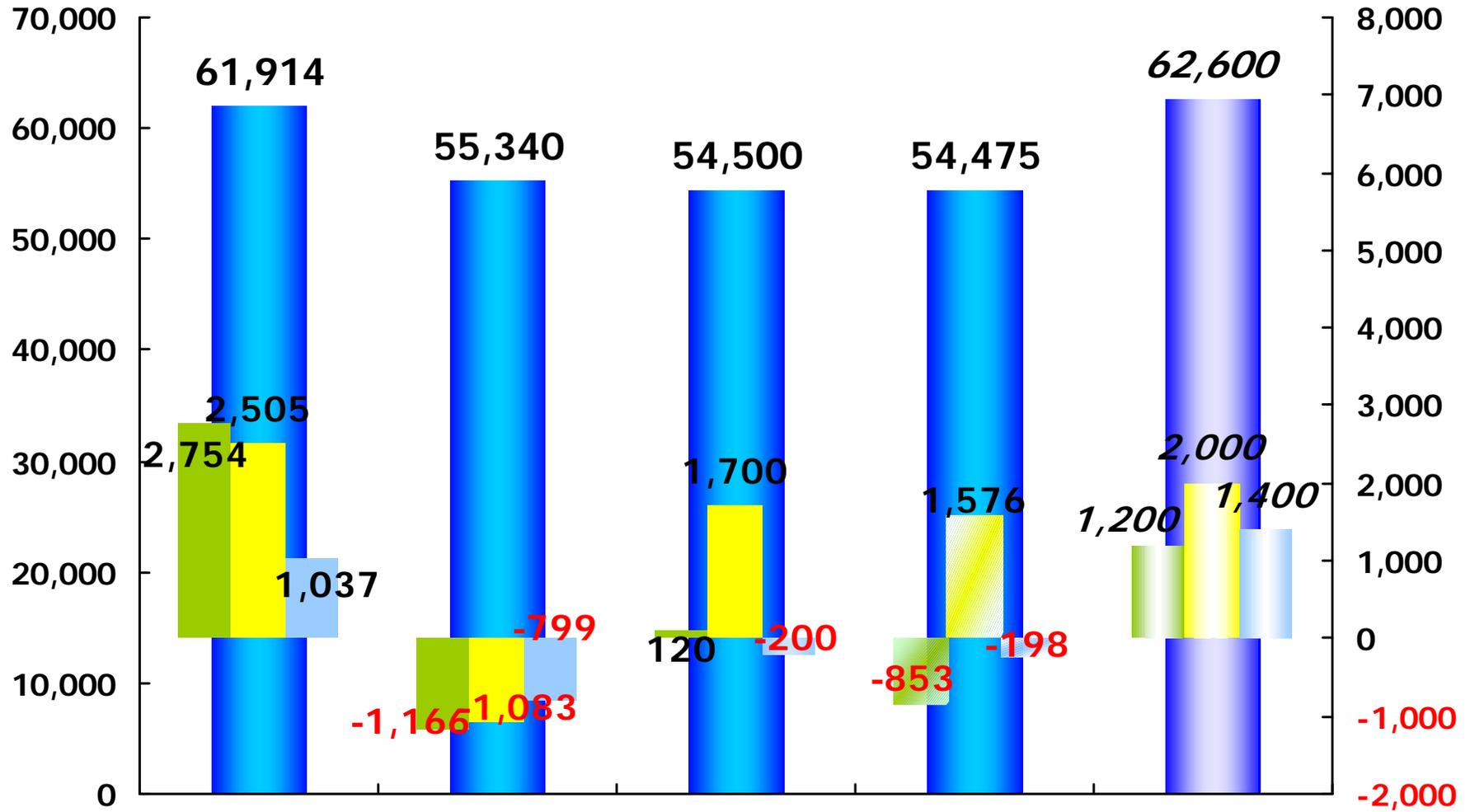
池田 靖光



通期 売上高、利益推移(FY2010~FY2013)

売上高:百万円

利益:百万円



FY2010実績 決算レート85.63円
 FY2011実績 決算レート79.02円
 FY2012 1月25日修正予想
 FY2012実績 決算レート82.83円
 FY2013計画 計画レート90円

■ 売上高
 ■ 営業利益
 ■ 経常利益
 ■ 当期純利益

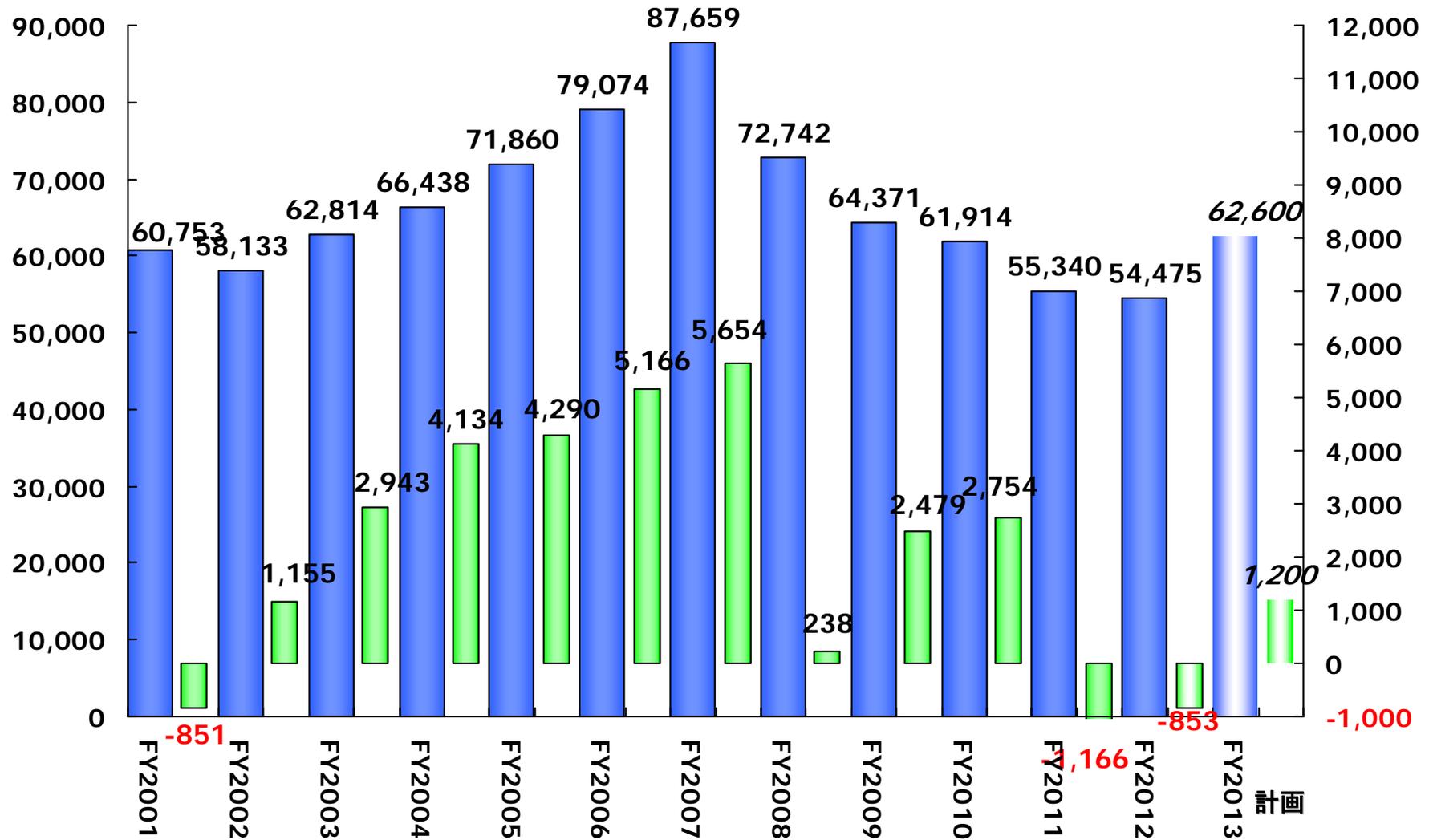




期別 売上高 & 営業利益推移 (FY2001~FY2013)

売上高:百万円

営業利益:百万円

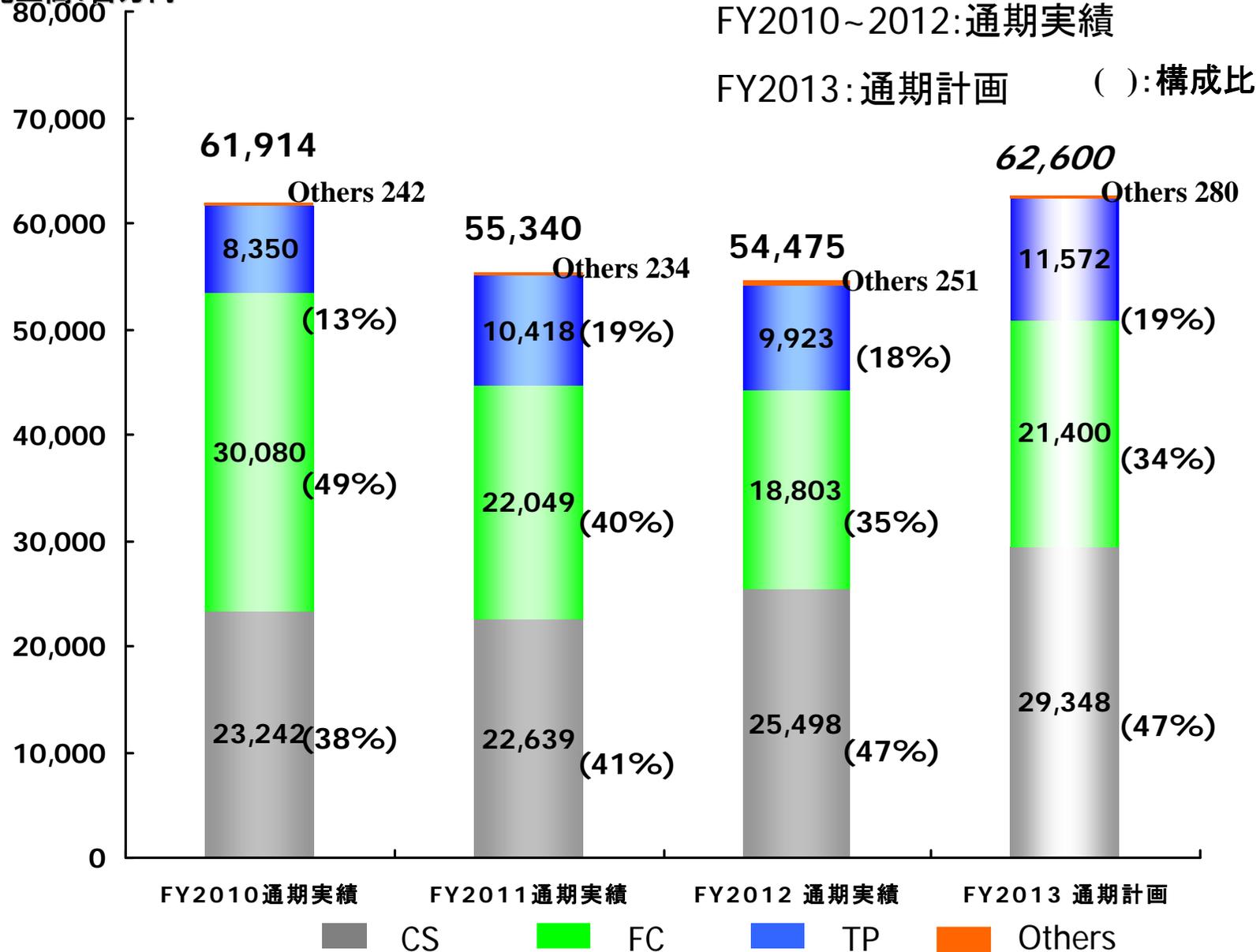


■ 売上高 ■ 営業利益



事業部別売上高(FY2010~FY2013)

売上高:百万円



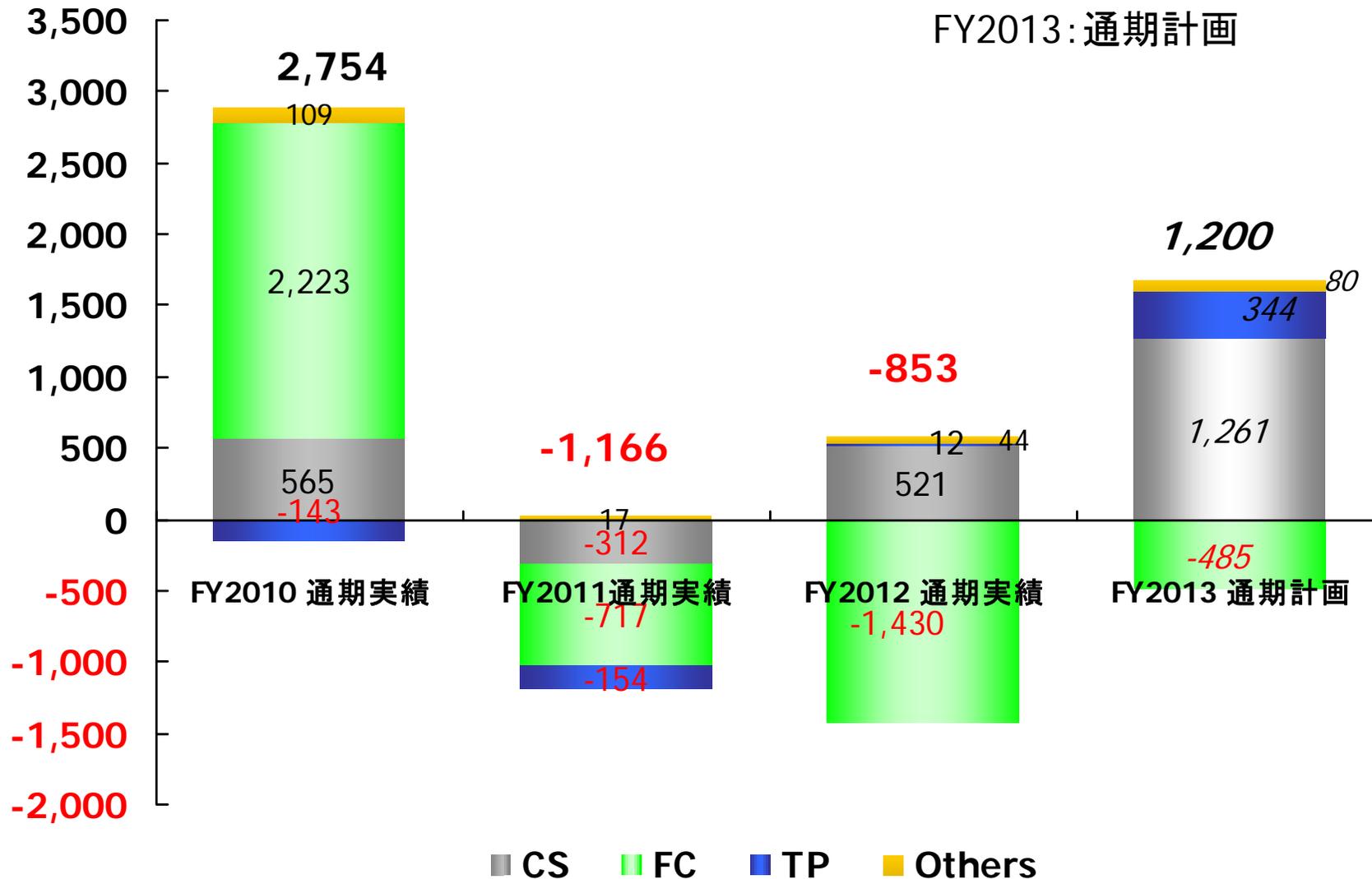


事業部別営業利益(FY2010~FY2013)

営業利益:百万円

FY2010~2012:通期実績

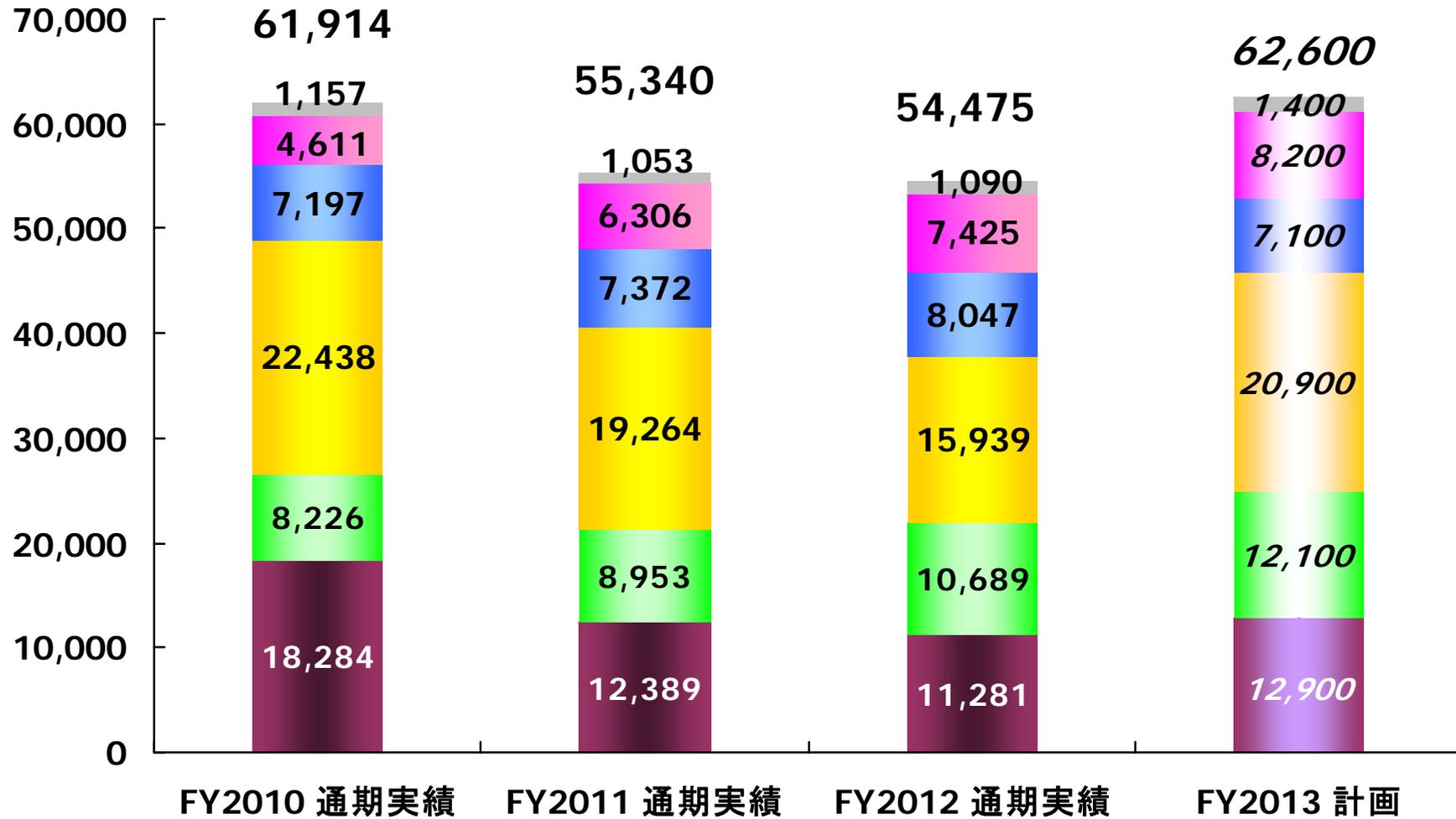
FY2013:通期計画





市場別売上高(FY2010 ~ FY2013)

売上高:百万円



■ 映像・音響部品

■ 電装部品

■ 通信部品

■ 情報事務機部品

■ 電子玩具・家電部品

■ その他部品

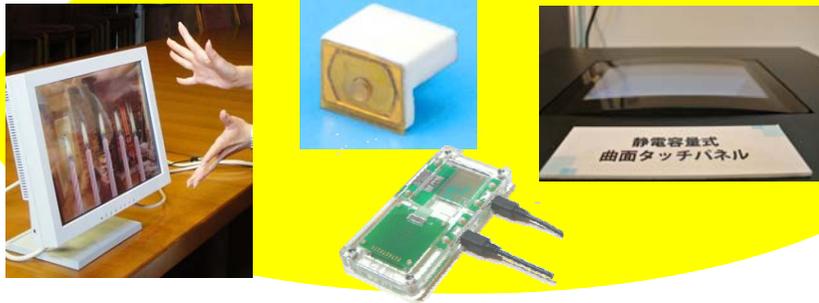




FY2012を振り返って -1



2012年 6月 6日～ 8日(品川で開催)



2012年7月～2013年3月



国内: 7月～ 9月

7月	: 7社
8月	: 7社
9月	: 11社
10月	: 3社
1月	: 1社
TOTAL	: 29社

来場者 2,719名、採用検討 540件

海外: 10月～ 2013年3月

10月	US	: 7社
11月	EU	: 4社
12,1,2月	China/Taiwan	: 38社
2月	Korea	: 4社
3月	Singapore/India	: 10社
3月	Malaysia	: 4社
TOTAL		: 67社

来場者 1,635名、採用検討 431件





FY2012を振り返って -2

21/30

● 販売・生産拠点の拡充

- ✓ 福田Officeの拡大 2012年7月
- ✓ 重慶Office開設 2012年8月
- ✓ デュッセルドルフBranch開設 2012年8月
- ✓ ティファナ新工場へ移転・拡充 2013年1月
- ✓ サンノゼOfficeの拡大 2013年3月





- 企業体質強化策の実施
 - ✓ 大和事業所の閉鎖
 - ✓ FC事業部の国内事業所統合
ひたち / 富山 → 富山
 - ✓ マレーシア第2工場の閉鎖





FY2013 ビジネス環境

23/30

ポジティブ面



- ✓ 円安基調への転換、株高の進行
- ✓ 米国景気に回復の兆し
- ✓ 新興国(ASEAN・南米等)経済の拡大

ネガティブ面



- ✓ 欧州債務危機の長期化
- ✓ 中国・ASEANの労務費上昇
- ✓ 各国で顕在化する政治リスク・社会リスク



1. 売上拡大への取り組み強化

- ✓ 伸長市場ビジネスの拡大
(スマートフォン、カーエレクトロニクス、IP TV/ STB)
- ✓ 新市場への参入と新規顧客の開拓
- ✓ 新しいビジネスの具現化

2. BPR推進による収益力の強化

- ✓ ものづくりの強化 (自動化、省人化、無人化)
- ✓ 不採算事業、不採算拠点の黒字化



スマートフォン・タブレットPC市場

Personal Navigation Device

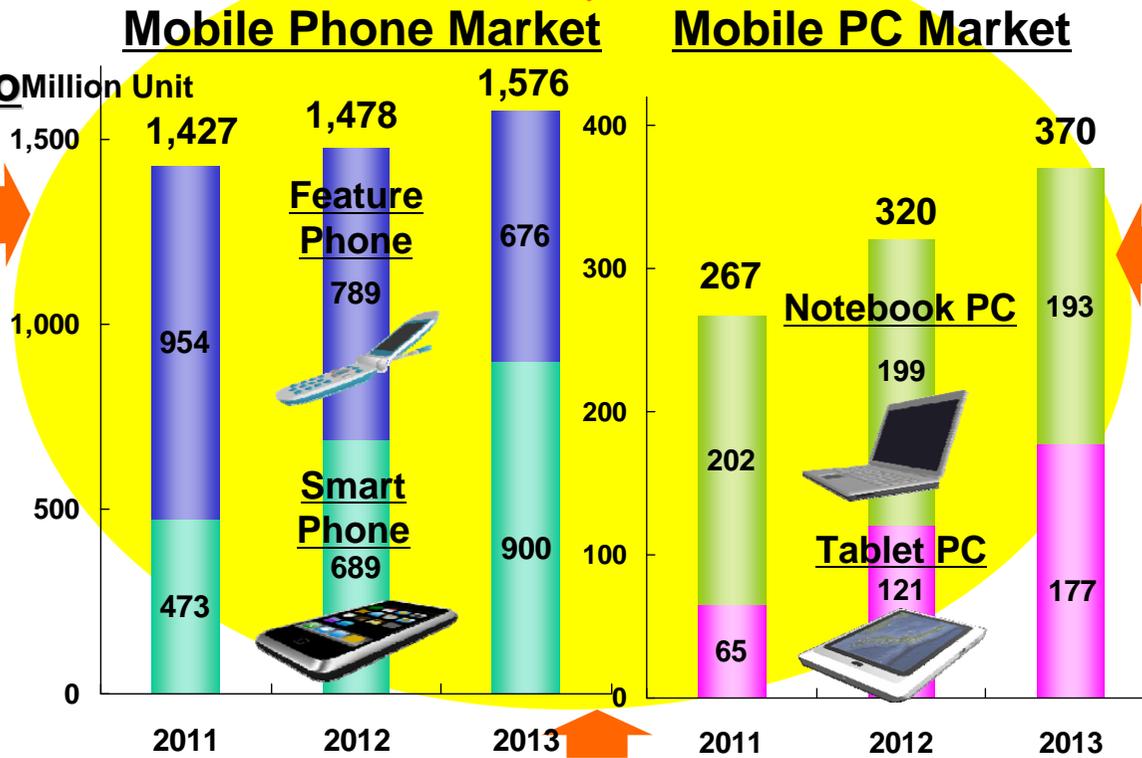
W/W 2013 Production
(vs. 2009)



33 million unit
(▲9%)

Portable Memory Audio

25 million unit
(▲58%)



Portable Game

39 million unit
(▲2%)



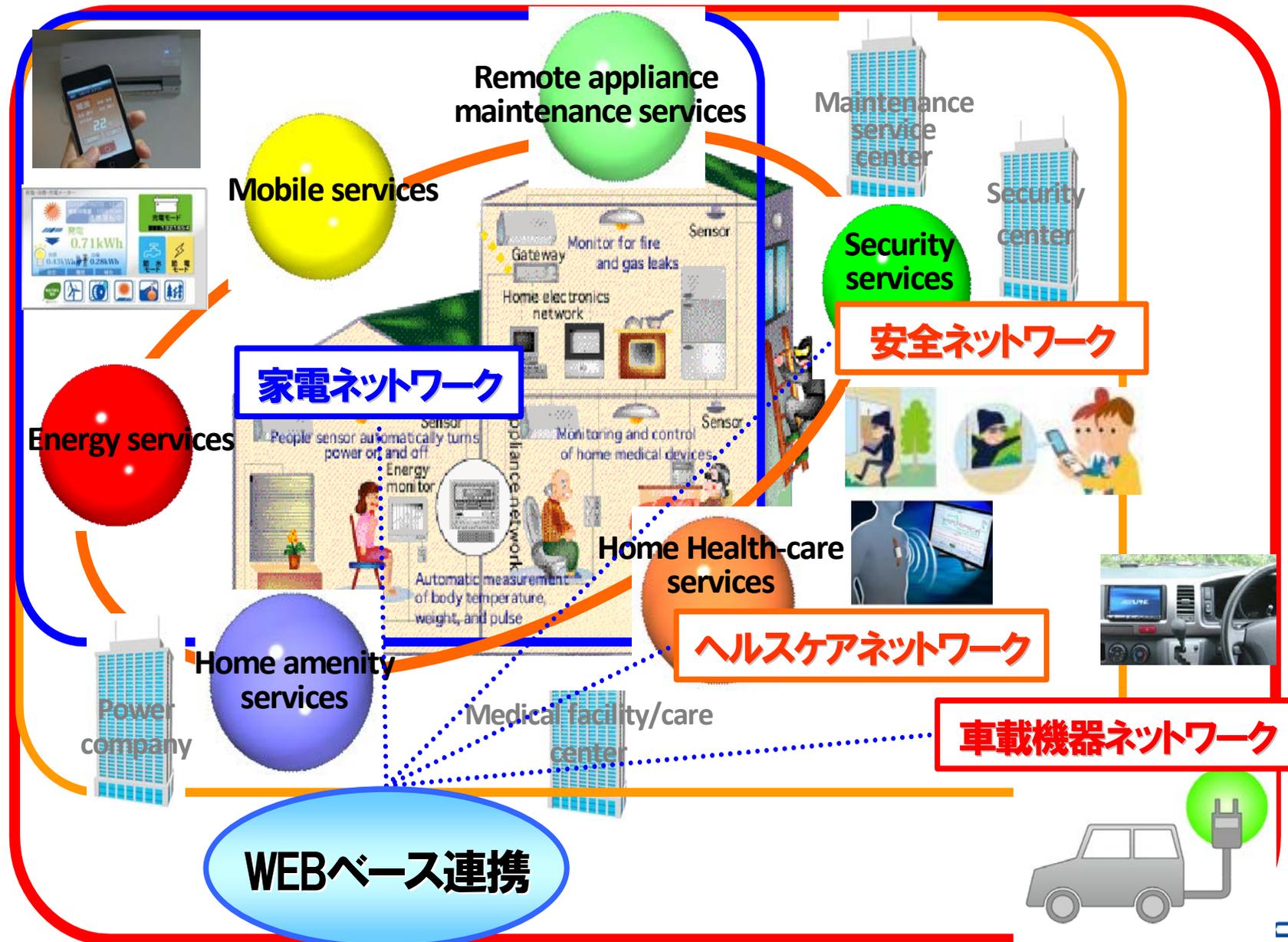
Digital Still Camera (Compact type)

86 million unit
(▲23%)





スマートライフを目指した取り組み



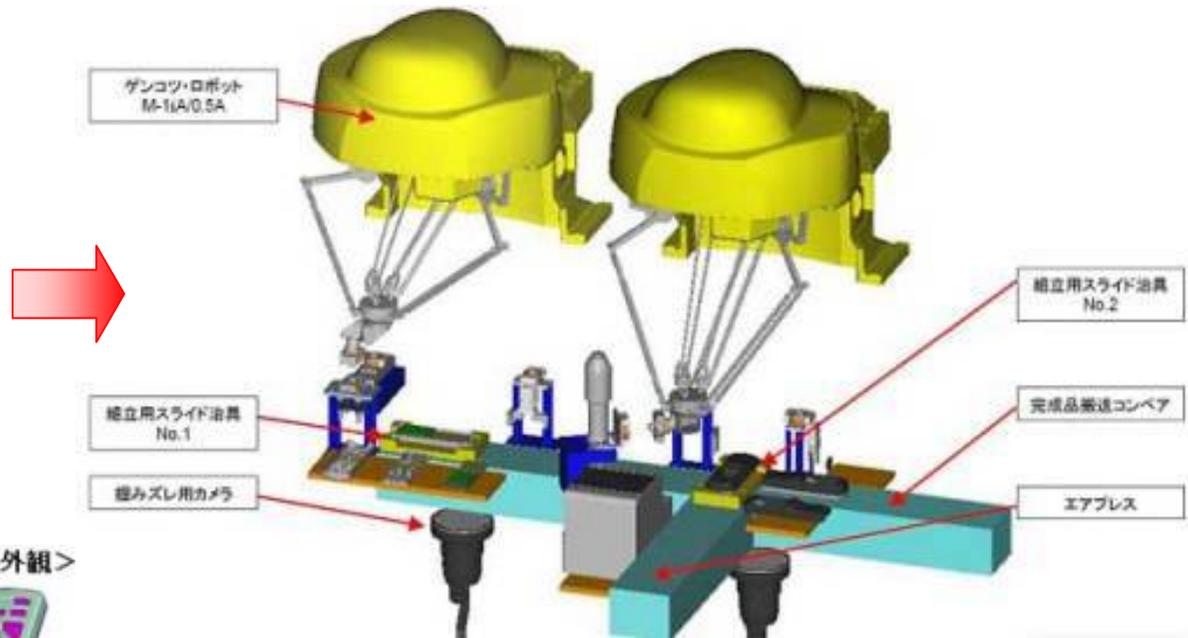


現状

リモコン生産ライン(SMK-DG)



ゲンコツロボットによるリモコン組立工程

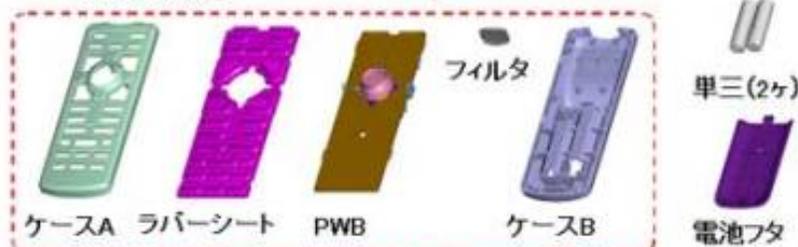


<製品外観>



本プロジェクトの
自動化対象工程

<部品構成>



組み立て順序



ロボットを活用した省人化ライン

28/30

新しいものづくり
への挑戦

高度技術の追求

一貫生産

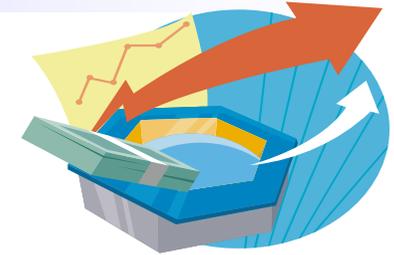
生産性向上

クリーン技術

精密加工



汎用自動リモコン検査機、組立機(再生時間:20秒)



新成長戦略の実践と 変化に対応できる企業体質の確立



この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、本資料の作成時点において当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら現実には、通常予測し得ないような特別の事情の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じる可能性があります。

当社といたしましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。